



## 透析医、HIV診療医の連携による全国透析受診HIV陽性者数の 現況把握と整備体制の検討 (包括ネットワークー透析領域ー)

研究分担者 安藤 稔  
東京都立府中療育センター 副院長

### 研究要旨

HIV陽性患者の中に末期腎不全患者数が漸増しつつある。しかし、偏見を背景に、HIV陽性透析患者は、市中の透析クリニックから透析治療を拒否されることが多い。したがって、末期腎不全に至ったHIV患者が、混乱なく居住近隣地域の透析クリニックでの維持透析治療に移行できる医療体制の整備が必要である。地域状況、HIV陽性腎不全患者数に応じたブロック拠点病院と透析医療機関（クリニックを含む）、地域行政との連携を構築する。

#### 【研修の背景】

平成23年2月14日から25日までに東京都福祉局健康安全部感染症対策課が行った都内469医療機関（診療所271、病院151、エイズ診療協力病院47）に対するアンケート調査（「透析を必要とするHIV陽性者の受け入れに関する調査」）結果によれば、透析医療従事者がHIV陽性透析患者受け入れを躊躇する主たる懸念は、以下の5点であった。

- ① HIV陽性患者専用の透析ベッドが必要か？
- ② 透析中の患者急変時の拠点病院などによるバックアップ体制は？
- ③ 医療者、他患者への水平感染リスクは？
- ④ HIV透析患者への対応手順（マニュアル）はあるのか？
- ⑤ 医療スタッフの拒否、風評被害がでるのでは？

従って、今後増加が予想されるHIV陽性維持透析患者の一般透析クリニック等による円滑な受け入れを促すためには、上記の疑問を軽減、解決するための研修が必要と判断した。

#### A. 研修・教育の対象および機会設定の目的

透析医療に従事する医師、看護師、臨床工学技士およびHIV診療に係る医師、看護師を対象にする。透析学会、透析関連研究会、感染症関連研究会など多くの関係者が集合する機会を利用して講演会を企

画し、HIVについて十分な理解を促し、透析を必要とするHIV陽性者の受け入れを円滑にすることを目的とする。

#### B. 研究方法

既存のガイドライン類（インターネット無料入手可能）、演者により作成されたpptスライドなどを用いた講義形式。

#### C. 研究結果

100-200人の聴衆に講義＋質疑＋討論形式で行い、終了後理解度についてアンケートを実施した結果、十分な理解を得られた。

#### D. 考察

上記①-⑤についての懸念、その他の質問の多くに対する回答は、すでに日本透析医会、透析医学会が策定したガイドラインに記載されている内容であった。多くの透析従事者はその存在を知らず、また知っていても通読していないことが判明した。今後は、機会あるごとに地道にガイドラインの宣伝活動を行う必要がある。このことにより、HIV陽性透析患者の受け入れに対する拒否反応を徐々に軽減でき

ると考える。

## E. 結論

一般透析クリニックによる患者受け入れをスムーズにするため、今後もガイドラインの存在と内容を透析従事者に伝達すべく啓蒙活動を続ける必要がある。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 原著論文による発表

#### 欧文

- 1) Masaki Hara, Naoki Yanagisawa, Akihito Ohta, Kumiko Momoki, Ken Tsuchiya, Kosaku Nitta, Minoru Ando. Increased non-HDL-C level linked with a rapid rate of renal function decline in HIV-infected patients. Clin Exp Nephrol DOI 10.1007/s10157-016-1281-9

#### 和文

- 1) 安藤稔 HIV感染患者におけるCKDと透析療法：現状と方向性 医薬の門 56(5)：224-227, 2016

### 学会発表など

#### 海外

- 1) Minoru Ando, Masaki Hara, Naoki Yanagisawa, Ken Tsuchiya, Kosaku Nitta. Long-term exposure to tenofovir is not linked with increased risk of renal dysfunction: A propensity score-matched analysis. ASN Kidney Week 2016: November 16-20, 2016, Chicago, USA
- 2) Masaki Hara, Naoki Yanagisawa, Minoru Ando. Decline of estimated glomerular filtration rate is a risk of poor outcome for HIV-infected patients. The 33<sup>rd</sup> World Congress of Internal Medicine: August 20-23, 2016, Bali, Indonesia

#### 国内

- 1) 安藤稔 HIV感染患者におけるCKDと透析療法 第61回日本透析医学会学術集会（ランチョンセミナー）：6月10-12日、2016年、大阪

- 2) 安藤稔 HIV感染患者に対する透析医療の基本 東葛クリニック定例研修会：7月5日、2016年、千葉
- 3) 安藤稔 HIV感染患者におけるCKDと透析療法 第21回埼玉HIV感染症研究会：1月30日、2017年、埼玉

## H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし